

環境運動の歴史から、環境問題の原点を学ぶ。

登壇 / 細谷卓爾さん (元「湖南消費生活協同組合」理事長)

石田紀郎さん (特定非営利活動法人「市民環境研究所」代表理事)

村上悟さん (特定非営利活動法人「碧いびわ湖」代表理事)

進行 / 大門信也 (関西大学社会学部准教授)

糸木優一郎 (関西大学社会学部4年)

E-MAP (Environmental Mindset Archives Project) #02

参加無料
(申込締切1/24)

主催：おいしい水研究会 共催：関西大学大門信也研究室

日時 / 2019年1月27日 (日) 13:30 - 16:30

(開場) 13:00 / 終了後、他会場にて交流会を開催します (※裏面参照)

場所 / 草津市立市民交流プラザ (大会議室)

滋賀県草津市野路1丁目15番5号「フェリエ南草津」5階
JR琵琶湖線「南草津」駅東口 徒歩2分



参加申込 / 「お名前、人数、交流会ご出欠」を添え、下記の宛先までお申し込みください。

宛先 / おいしい水研究会E-MAP事務局 メールアドレス : e-map@mizuken.org



HP : <http://mizuken.org/>



@emapmizukenorg

E-MAP #02

環境運動の歴史から、環境問題の原点を学ぶ。

E-MAP(Environmental Mindset Archives Project)とは、環境問題の解決に向けた様々な運動の経験と、その知見の継承を目的としたプロジェクトです。第2回目となる今回は、滋賀県を中心に労働運動、公害・労働災害反対運動に長年携わってこられた細谷卓爾さんをゲストとして迎え、元・京都大学教授の石田紀郎さん、そして、特定非営利活動法人「碧いびわ湖」代表理事の村上悟さんに、滋賀県における環境運動の歴史と現在についてお話しいただきます。公害問題・環境問題について関心をもっている/取組んでいる方々をはじめ、学生の方々からベテランの方々にいたるまで、ぜひお気軽にご参加ください。



細谷卓爾さん

1934年東京生まれ。東京大学経済学部を卒業後、新日本窒素肥料株式会社（後にチッソ）に就職。当時の滋賀県守山町に設立されて間もない日窒アセテートに赴任し、職場内の賃金格差問題を契機に労働組合運動に携わる。その後、総評滋賀地評事務局長を務めると共に、公害・労働災害問題根絶に向けた裁判闘争支援や現地調査、協同組合運動やリサイクル粉せっけん運動など、多岐にわたる社会運動を滋賀県にて展開した。元「湖南消費生活協同組合」理事長。

石田紀郎さん

1940年滋賀生まれ。京都大学農学部助手、同助教授、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科教授、京都学園大学バイオ環境学部教授を歴任。農薬問題を中心に全国各地の公害現場に入り、化学物質などの分析に尽力する。1970年代初頭、琵琶湖浜大津の人工島建設問題を機に、細谷氏とも多くの現場で活動を共にした。



村上悟さん

琵琶湖赤潮大発生の前年にあたる、1976年滋賀生まれ。滋賀県立大学大学院修了後、NPO法人「アサザ基金」のスタッフ、大工の見習いを経て、「どっぽ村」の立ち上げに携わる。2009年、藤井絢子氏が代表を務めた「環境生協」の全事業を引き継ぎ、NPO法人「碧いびわ湖」を設立し、代表理事となる。赤潮以降の世代で、滋賀県の草の根自治を担う一人である。

タイムスケジュール

13:30 第一部（座談会）

15:00 休憩

15:15 第二部（質疑応答を含む）

16:30 終了

17:30 他会場にて交流会を開催します。（一般：3500円 学生：2500円 ※要申込）

（※このプロジェクトは映像での収録を行い、後日映像アーカイブとして保存・公開いたします。）